

生きるも生きる

——第11回——

よろしく
お願ひ
しまーす。

マンガ／取材：
工藤ケン

“福祉”に“美容”を もたらす伝道師

今回の主人公は「福祉美容」という
新しい分野を普及しようとしている
藤田 肇さん



藤田さんの場合
自分のお店
「福祉美容室
カットクリエイト21」
(横浜市内に1店舗ある)
を拠点に首都圏で
活動している

「福祉美容」とは—
お年寄りや身体に障害を
もつ方がいる
福祉施設や個人宅などを
直接訪れてヘアカットを
したり、自分のお店へ
送迎をしたり—



大手メーカーの営業部長だった藤田さんは
五〇歳の時に仕事を思い立ち
仕事と並行しながら勉強を続け
五年後の三度目の挑戦で見事
美容師の資格を取得!!
さらにホーリヘルパー一級の
資格を取得した後に

五八歳で会社を定年退職し
念願のお店をオープンさせたのが五年前
家族との絆を大切にする
ブラジル駐在生活で仕事よりも
自然との仕事を詰びついたといつ

藤田わざわざ
人はいりつになつても
あれいでいたいと思つ
ものだ



しかし 高齢になつたり
身体に障害をもつてしまつて
なかなか自分だけでは
思つねつないかななる

身体介護の中には
身体洗浄や入浴の
サービスはあるが

それと同じひび
美容につけて
考へても良いと思つ

介護の心得もむづ
プロの美容師がいたら
いい



自動車での移動といつと
樂に聞こえなかつたが
お店のある横浜市港南区から
午前中の訪問先 東京大田区の
「ハイカーペンセンター 徳持南」までは
かなりの距離である

藤田わざの
一日のお仕事を見せて
いたゞくため 同行を
お願いした



この施設では
利用者のための
広い化粧台がある
そこに藤田さんが持参した道具を
並べ 美容室「ナーナーへと変身!!



利用者さんとの会話を
はがめながらも
着々と仕事を進めていく
藤田さん

利用者さんの
(普段はなかなかお手入れ
ができないであります)
髪が見違えるようになつてしまふ

藤田さん
利用者さんの感想を
ていねいに聞いていく

一般の人なら思はずして
しまったような 利用者さんの
ちょっとした反応から
ちゃんと意思を読みとつて
いいのだ!

いかがですか?

ん~!
あ~

やわらか 最も特徴的なのは
「四品」。
利用者さんの外観を
はつきりとあるほどに
やさしく語りかけるのだ
そして 知識が豊富!!

いやあ ○○さん
いつもお美しい
ですね!

やはり出身地の話は
楽しんでもらえる
ようですね

だから 各県の特長や
土地柄 名物などはある程度
勉強しています



ややこしい語りかけられ
楽しげおしゃべりしながら
自分がきれいになつていく
というのは 利用者さんにとって
何より良い気持ちだわうど
思う

「福祉」というものの
神髄を見た気がした



利用者さんは
とてもいい表情で
満足そう

いやあ○○さん
きれいに
なられましたねえ

カットが終了

一〇歳くらい
若返りましたよ
○○さん！

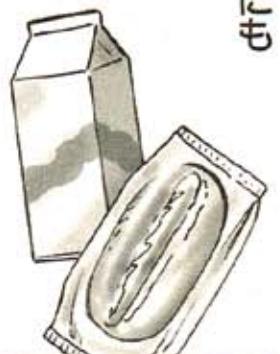


車の中で「コンビニ」で買った
パンとヨーグルトを胃に流し
込んで昼食は終わり 時には
昼食抜きの日もあるといつ

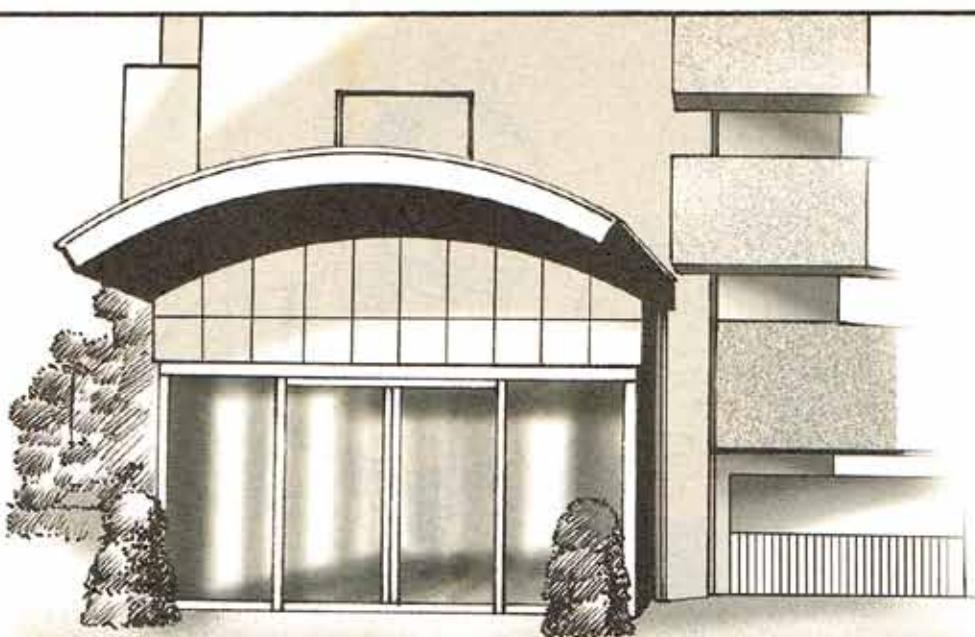
藤田さんのタフさには
恐れ入る

おつかれさま
でした！
工藤さん

午前中は「コンビニ」で
六名ほどじこなし
そのまま次の場所
横浜にある有料老人ホームへ
直行



午後からの訪問先は
横浜市の若葉台にある
「レクリオーレ 横浜若葉台」という
有料老人ホームだ



ここでは
せじめから業務職務が
設置されていて 道具も
そろっている



ここでは
一気に二つの職業を
連続してカットする



この有料老人ホームには
午前中のデイセンターよりも
要介護度の高い入居者の方が多い

藤田さんはどんな人にか
まったく変わらずにやかに
やさしく語りかける
言葉が出せない方でも
そのしぐさや細かい表情から
くふとつてこなつた



体勢の変えられない
人にもその技術と
工夫された道具で
対応していく

各種のバリカンを使つて手の届かない
ところでもあわやかに
カットしていく



美容師は
カミソリを使つてはいけないので
その代わりに使つてこなのが

某メーカーが開発した
電動シェーバー
これで細かい産毛や
ひげをカットするのだ

午前中から夕方まで
昼休みも休憩もどつていらない！

(毎年ボノルルマツソン)
を完走するランナーで
ある=ひー

それにしても
藤田さんはタフだー



作業が終わると
お客様の髪の毛を
全部持つて帰るのだ

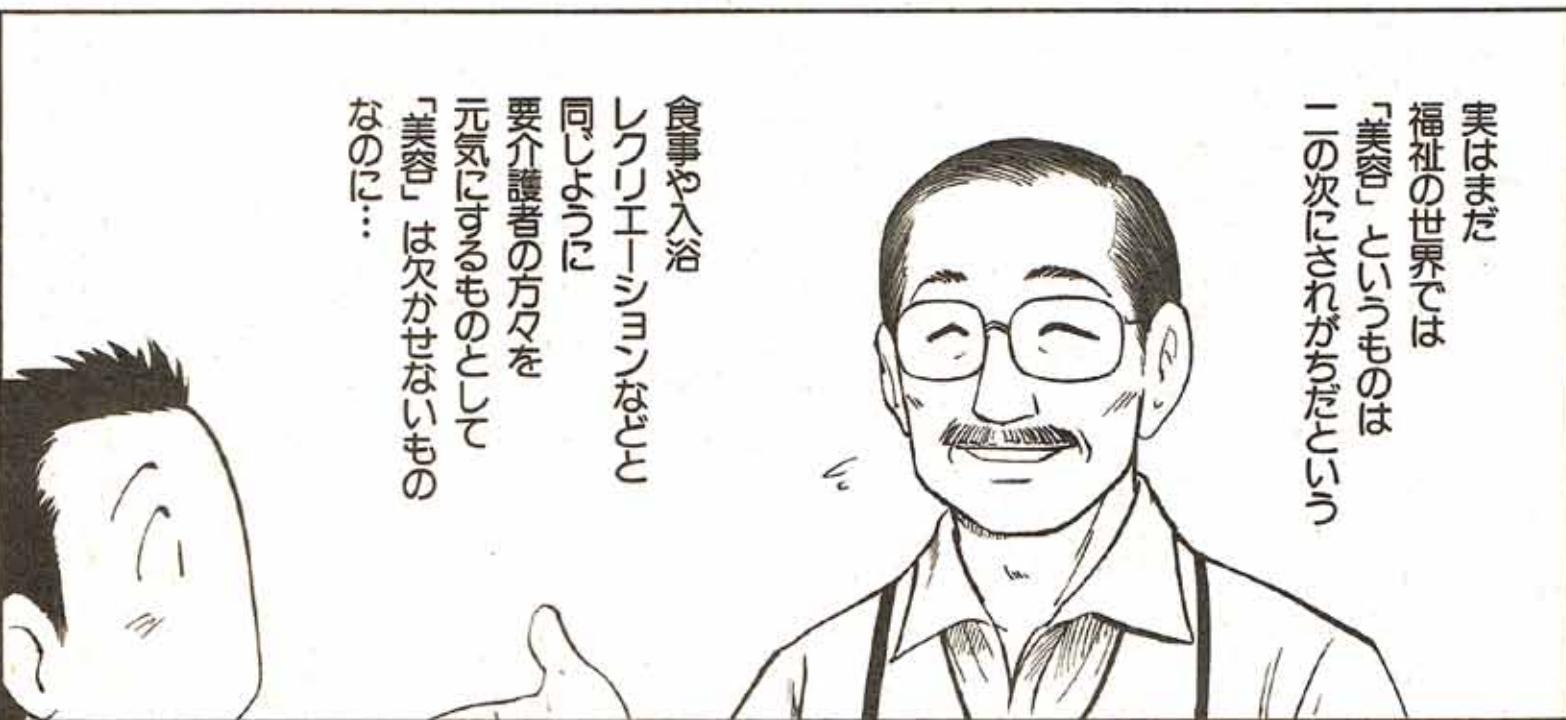
そんなところにも
藤田さんの仕事に
対する真摯な姿勢が
感じられる

一般的に
受け入れられるよう
さまざまな活動をしている



実はまだ
福祉の世界では
「美容」というのは
一の次にされがちだといふ

食事や入浴
レクリエーションなど
同じように
要介護者の方々を
元気のあるものとして
「美容」は欠かせないもの
なのに…



ボツは 藤田さんの
パワフルで素敵な人柄と
そのすごい努力を
間近に見て

是非とも「福祉美容」が
もつと世の中に認められる
ようになつてしまふこと
心から思った

